

# トイレ用小型暖房器

ナカガワ工業 高齢者に安全を提供

【札幌】ナカガワ工業(北海道恵庭市、中川富雄社長、0123・32・6111)は、トイレ用小型暖房器「icoro(イコロ)」を開発した。10月をめどに発売する。冬場のトイレや浴室では急激な温度変化によって血圧変動が起こる「ヒートショック」が問題視されており、小型な暖房器の需要が伸びるとみている。価格は幅5千円の標準タイプで「消費税込み3万円を切りたい」(中川社長)とし、初年度500台の販売を目指す。



高齢者が安全に使用できる暖房器として提供(イコロと中川社長)

ナカガワ工業はトイレ用小型暖房器の開発で北海道機械工業会が工業デザイナーを派遣するなど支援も受け、

デザインにこだわった製品に仕上げた。2枚組み合わせたアルミパネルをそれぞれ反対方向に湾曲させ「東京タ

ワーのような形(同)で安定感のある構造にした。パネルの間に隙間をつくるなど暖気を果)で効率的に室内温度を高める工夫も施した。同社は窓からの冷気侵入や窓際の結露を抑

える「マルチヒーター」が主力製品で、首都圏を中心に累計約20万台を販売している。「トイレでも使えるものがないか」との顧客ニーズから今回の製品を開発した。「ヒートショック」は脳梗塞や心筋梗塞につながる恐れがあり、高齢者らが安心・安全に使用できる暖房器として提供する。

中川社長は「イコロはアイヌ語で『宝物』という意味。展示会にも積極的に出て行くなど、北海道の企業にも信じてほしい」として技術力があることを発